

『ストーマケア研修』

研修会実施報告

日時 : 令和5年11月9日(木) 9:00~13:00

対象者 : ラダーⅢ~Ⅳを目指す者・地域支援対象研修

参加者数 : 23名 (対象者16名 地域医療従事者7名)

目標 : ストーマケア看護の知識と技術を習得しボディイメージが変容した患者への看護や皮膚障害への対処法を習得し看護実践に活用し指導することができる

<講師の紹介>

WOC 看護師
外来診療科
Y 主査



<内容>



今回は、ボディイメージが変容した患者へのケアをテーマにした講義でした。ボディイメージとは自己概念の要素の一部であり、ストーマ造設による影響や看護介入のポイントについてお話して頂きました。また、ストーマ外来での患者さんとの関わりを聞き、入院から手術、そして退院後の社会復帰から5年後、10年後と継続した看護や情報提供が大切であると学びました。

前半は、ストーマの測定や、ミリ単位での面板の切り方や、面板を貼る時の姿勢やしわの伸ばし方、装具を付けてからの袋の噛み合わせの手技等、細かく説明を受けながら実施しました。

後半は、メーカーとの合同講義で、皮膚保護剤の種類と特徴、PHによる緩衝性の実験などを行い、成分による特性の違いが理解でき、メカニズムや根拠をもったストーマ看護に繋がられると思います。研修生からは「実際のトラブルと対処方法が知ることができた。」「皮膚保護剤の成分や効果を知ることができた。」「研修で学んだ知識と技術を病棟で指導していきたい。」などの声が聞かれました。今回の学びをスタッフの指導に繋げ、患者さんのケアに活かして頂きたいと思います。